

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		鈴鹿市第1療育センター			公表日		令和 7年 2月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14		1			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14		1	・各クラスで適切な職員配置になるように、職員休暇等について管理徹底に努めている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	1	1	・各療育室を色名にして、お子様にとって視覚的にもわかりやすくした。 ・視覚支援の活用で工夫している。	・手洗いの数がもう少しあってもよいかと思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	3	1	・壁の飾りが今年度からなくなり、お子様にとって刺激が減ってよいと思う。 ・シルバーさんの清掃が毎日入っているため廊下やトイレの隅々まで綺麗と感じている。	・窓に埃がたまり不潔（特にサッシ）。 ・職員の大掃除が年1回（年末）行っているが、もう少しあってもいいのではないか。 ・もう少し清潔にしてもよいと思う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	1	1			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	2	1	・療育活動前後に、事前ミーティングと振り返りの時間をとって業務改善に努めている。 ・療育会議を通して、日々の目標設定や振り返りについて協議している。1月より各専門職員も参加している。	・正規職員を中心に行っているもので、それ以外の職員の意見もより取り入れられると良いと思う。 ・今後も多くの職員が話し合いの場に参加しやすい環境づくりが必要。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14		1	・保護者向け評価表を受けて、管理者や児童発達支援管理責任者を中心とした話し合いの場を設けている。	・保護者向け評価表を受けて協議するだけでなく、年度途中で協議されたことが改善されているかどうかの協議も必要。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14		1	・年2回の職員個別面談と月2回の運営会議を中心に、職員の意見等の把握に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	4	1		・外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	1	1	・職員研修を年10回以上実施している。 ・研修の機会が増えている。	・療育に関する研修が増えるとよい。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	2	1		・支援プログラム作成中（今年度中完成予定）。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	14		1	・センター内の担当者会議を実施し課題について客観的に分析して計画を作成している。		

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14		1	・センター内の担当者会議を実施し、お子様の最善の利益について協議されている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	1	1	・職員間で計画内容が共有されており、計画に沿った支援が行われている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1	2		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14		1	・個別支援計画に、左記の項目をしっかりと踏まえた支援内容が設定されている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14		1	・チームで行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	1	1	・各クラスのリーダーが固定化しないようにプログラムを工夫している。	・固定化しないように工夫しているつもりであるが、毎月似たようなプログラムになることもある。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	1	1	・各個別訓練と集団療育を組み合わせ、個々に合った支援をしている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		1	・支援開始前に、必ず打ち合わせを実施して、活動内容や担当、注意すべき点等について確認している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14		1	・支援終了後に、振り返りを実施して、そのクラスの反省や課題等について共有している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14		1	・日々の支援について、必ず記録をとっている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14		1	・定期的にモニタリングを行い、サービスの見直しにつなげている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	14		1	・ガイドラインに沿って、支援を行っている。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14		1	・自己決定力を育てる支援を目的とした活動プログラムになるように工夫されている。	
26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14		1	・現場全体を把握している児童発達支援管理責任者を中心に、担当者会議やケース会議等に出席している。		
27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	1	1	・各関係機関と情報共有に日々努めている。		

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	4	2	・保育所等訪問支援やケース会議等をととして学校との情報共有に努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13		2		・保育所や幼稚園等と情報共有する機会が少ない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	2	4		・放デイから他事業所へ移行する機会がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	2	3	・作業療法士が市内事業所の依頼を受けて、スーパーバイズを行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	9	2		・交流する機会がない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	3	2	・『市内障害児通所支援事業所 担当者連絡会』に積極的に参加している。	・あるのか知らない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13		2	・来所時や降所時等に保護者様とコミュニケーションを図り、共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	7	2	・児童発達支援のみペアレントトレーニングを行っている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13		2		・より一層保護者様へ丁寧な説明を心掛けていく必要があると感じる。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13		2	・センター内の担当者会議を実施し、お子様の最善の利益について協議されている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13		2	・計画の同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13		2	・保護者様からの申し出に応じ、相談対応を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	11	2		・実施していない現状である。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14		1	・苦情が入った際は、迅速な対応ができるように、職員間で報告・連絡・相談を徹底している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	1	1	・保護者様向けメール『きずなメール』を活用して、様々な情報を配信している。 ・SNS（インスタやFB等）や地域向け広報紙を活用して、保護者様だけでなく各関係機関に対して情報発信している。	

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14		1	・個人情報の取扱いについて、十分留意するように職員研修や会議等とおして、職員への周知を徹底している。	
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14		1	・聴覚障がいの方とのコミュニケーションをよりスムーズに図るために、法人内で開催されている手話勉強会にセンター代表で職員2名が参加している。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	3	1	・地域へのイベントに参加している。社協のイベント(ふれあい広場等)もあり、相談コーナーを設け、参加している。 ・地域で開催される福祉イベントに積極的に参加している(おもちゃ図書館や相談コーナー等)。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	3	1	・各マニュアル(防犯マニュアル以外)が策定されている。 ・各マニュアルや取り組みについて研修会や職員会議を通して職員へ周知されている。	・感染症対応のフローチャートは作成していた。訓練は実施していない。
	47 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	2	1	・BCP策定しており、BCPをテーマとした職員研修も実施している。 ・避難訓練は年2回実施している。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14		1	・今年度より個別の緊急情報カードを作成。 ・事前に保護者様から聞き取り、カード内に服薬やてんかん等の情報が記載されている。	
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	4	1	・保護者様から詳細を聞き取っている。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14		1	・職員間で話し合いをし、安全面の管理のもとで支援をしている。 ・今年度作成された安全計画に基づき、安全管理の中で支援が行われている。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	1	2	・今年度より作成された安全計画について、保護者様向けメールにて家族等へ周知している。	・わからない
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14		1	・一度起こしたことを繰り返さないよう、対策を練っている。 ・事故・ケガがあった際、再発防止に向けて話し合いがされている。翌日、朝礼にて報告し、職員全体で共有している。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	1	1	・研修を受ける機会の確保がなされている。 ・虐待防止委員会主催の研修会が年1回開催されている。動画視聴も可となっていてたすかっている。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	3	2	・身体拘束するお子様が現在みえない。	